

回復期リハビリテーション病棟実績

あきしま相互病院
2026年10月1日現在

1、退棟患者数（2026年7月～9月）

①回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数	67名
② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	67名

③	② 状態患者の内訳	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後 若しくは手術後の状態 又は 義肢装着訓練を要する状態	30	44.8%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 若しくは膝関節の骨折 又は 2肢以上の多発骨折の発症後 又は手術後の状態	17	25.4%
3	外科手術 又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後 又は発症後の状態	8	11.9%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋 又は靱帯損傷後の状態	1	1.5%
5	股関節 又は膝関節の置換術後の状態	11	16.4%

2、実績指数(前月までの6ヶ月間) *各年度(4月、7月、10月、1月)に算出

④ 実績指数（⑥ / ⑦） 2026/4/1～9/30	55.34
⑤ 実績指数の計算対象とした患者数	111名
⑥ ⑤の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除し対象となる改善項目の加算点を加えた総和	3172
⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和	57.32

実績指数 =
$$\frac{\text{⑥} \left(\begin{array}{c} \text{FIM得点[運動項目:退棟時 - 入棟時]} \\ + \\ \text{「歩行・車いす」及び「トイレ動作」が入棟中に5点以下から} \\ \text{6点以上に上がった場合、それぞれ1点を加点} \end{array} \right) \times (\text{対象患者の合計})}{\text{⑦} \quad \text{存棟日数} \div \text{入棟時の状態での算定日数上限} \quad (\text{対象患者の合計})}$$